

# 里せきもと

人と地域を育む愛宕の里せきもと

令和4年春号（季刊誌）NO.12



せきもとさとづくり推進協議会

## 笠石地内

### 「自然と触れ合う里山整備事業」進行中

笠石地内の「自然と触れ合う里山整備事業」がスタートして2年目になりました。これからも継続して、皆さんの憩いの場となるように努力して参ります。

頭上注意・道路上にはみ出した木の伐採も



雑木の運び出しと片付



3月27日（日）遊歩道の両側にツツジ・紫陽花・土佐水木・百本を部会員で植樹しました。地域の皆さんで大切に育てましょう。



除草作業に参加された方々  
お疲れ様でした。



遊歩道

周囲の枯れ草や小石を片付けてから砂利を敷いて転圧を。



### せきもとさとづくり推進協議会総会は書面表決で実施します

通年、5月にせきもとさとづくり推進協議会の総会を開催していましたが、ここ2年、コロナの影響で開催できませんでした。現在も新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が増加傾向にあることはご承知の通りです。感染拡大防止対策のため皆様の健康と安全を考慮し、『令和4年度 総会』の開催を中止し書面での決議に替えさせていただきます。何卒、ご理解のほど宜しくお願い致します。

### 地区の皆様にお願ひ!! 遊歩道はみんなの共有財産! 大事に維持しましょう!

2年がかりでようやく遊歩道を整備し、ツツジなどを植栽し終わりました。ところが、1週間も過ぎない頃、植栽した植木が何本か抜かれてしまいました。残念です。堰本の財産です。皆さんで暖かく見守りましょう。



植えました! 抜かれて、また植えました



### ありがとうございました

鹿の子町内の高山さんよりヤマハ・アップライトピアノをご寄贈いただきました。現在調律中ですが、大研修室にてのコンサートや歌声教室などに大切に利用させていただきます。



### 編集後記

初めに3月16日に発生した福島宮城地震で被災された皆さまにお見舞い申し上げます。大きな地震に何度も見舞われ、家屋はちよつと大きな揺れでもかなりミシミシと音を立てるようになりました。3・11以降、福島は全国で最も地震の回数が多いと報道されています。これからも心して防災対応することが大切だと思います。春は別れと出会いの時。今年の桜は間に合いませんでした。4月6日には市内の小中学校の入学式があり、堰本小学校でも10人の新入生を迎えました。児童数も年々減少傾向にあります。子どもは社会の宝! 元気に育ってほしいと思います。

表紙の写真は、藤橋町内会の新1年生・清水新さん、父光さん、母聖さん、昨年にも生まれた弟さんの清水さんご一家です。ご協力ありがとうございました。

# 活動報告

## 令和3年度「堰本さとづくり」 標語決定



堰本さとづくり  
標語は、令和3年度も堰本小学校児童に募集し、厳正な審査の結果、次のように決定しました。  
2月9日に小学校体育館で表彰式を行い、14枚の標語看板は、地区内に掲示しました。  
上記写真は受賞した児童たち



澁谷会長から賞状授与

- ☆うれしいな みんなといると なんでもできる
- ☆はじめよう せきもとのさと たすけあい
- ☆せき本は 心ゆたかな ふる里だ
- ☆せきもとは ルールをまもる いい子たち
- ☆せきもとの 地元のきずな はば広い
- ☆せき本は ぼくたちの町 すてきな町
- ☆うれしいな みんなともだち せきもとっこ
- ☆堰本の 地域みんなで コロナ予防
- ☆堰本は 元気いっぱい 子どもたち
- ☆堰本に 笑顔の花が さいている
- ☆堰本は 緑あふれる きれいな町
- ☆おはようと 笑顔で声かけ 堰本の子
- ☆金メダル すてきなあいさつ 堰本っ子
- ☆堰本は 自ぜんの動物 いっぱいだ

## お寺さんコラム



和顔愛語  
(わげんあいご)  
薬師寺住職  
山本孝浩

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、春と秋にはお彼岸があり、彼岸を節目に季節の変わり目を迎え、どの家庭でもこの期間にはご先祖様のお墓参りに行かれると思います。お彼岸には、ぼたもちやおはぎを、ご先祖様への感謝と家族の健康を願う墓前や仏壇にお供えしますが、お餅には五穀豊穡、小豆には魔除けの意味が込められています。ぼたもちとおはぎは基本的に同じものですが、呼び方が時期により変わります。ぼたもちは春に咲く牡丹に見立て「牡丹餅」と書き、おはぎは秋の草花である萩に由来して「お萩」と書きます。ご先祖様にお供え物をして供養を行い自分と向き合う時間を作る、お彼岸の古来からの風習はどんな時代でもずっと変わらずに子孫に継承していきたいものです。

仏教の教えに六波羅蜜(ろくはらみつ)というものがあります。これは布施(施しをする)・持戒(規則を守る)・忍辱(不平不満を言わずに堪える)・精進(最善の努力を尽くす)・禅定(心と体を落ち着かせる)・智慧



1本の木から枝分かれして咲く薬師寺の紅白の梅

(正しい判断力で真実を見極める)の六種の行いを実践することです。普段から仕事・家事・雑務に追われ、なかなか仏様の教えを実践できない私たちですが、お彼岸の期間は六種の行いの一つでも取り組んでいただければありがたい限りです。自分自身もまだまだ修行がたりない?日々精進に努めたいと思っています。

六種の行いのはじまりは「和顔愛語」です。うそやねたみ等のない和らいだ笑顔で愛情のこもった言葉で人に接することです。だれでもできると思われがちですが、ついうっかり忘れてしまいます。特に自然災害やコロナ禍で笑顔が少ない我慢の時期が続いているのでなおさらです。

人々の幸せのためみんなで「和顔愛語」の気持ちをお互いにかけると、慈悲心が芽生えお互いを尊重しあえる心豊かな社会が生まれてきます。世界が平和で明るく慈愛に満ちた未来になるように切に願うばかりです。

## 地域の方々紹介



### 東日本大震災とともに

酒井 哲朗

福島県立美術館名誉館長  
鹿ノ子町内会

堰本(笠石)に越してきたのは東日本大震災の年の2011年5月でした。当時、福島県立美術館の館長在任中で、福島市霞町の公舎に住んでいました。翌年退職を予定していたため、住まいを探していました。家内が土いじりが好きで、丸森町の「クライネ・ガルトン」という住居つきの農園を借りていました。梁川は通り道で馴染みがあり、たまたま売家の広告を見て来てみたところ、ゆったりとした静かな環境が気に入りました。

ところが本契約寸前に震災に見舞われ、幸い被害は軽微だったので転居を決めました。

ましたが、震災直後は資材も業者も払底し、家内の知り合いの会津の大工さんに助けを求め入居することができました。転居を急いだのは、古い公舎の痛みがひどく、残りわずかな任期のために税金を使うのが心苦しいという思いもありました。

住んでみて気づいたのは、外来者がいない複合した血縁関係で構成された地域共同体であるということです。しかし、排他的なところは全くなく、西も東もわからないよそ者を温かく受け入れてくれました。原稿を書いている3月は震災後11年ということで色々な特集をテレビや新聞で見受けられますが、私どもには伊達市民になつて11年を意味し、改めて深く感謝しています。

近年変形性関節症の悪化で歩行も困難でしたが、年頭に手術をうけ、今は足の曲げ伸ばしが自由になり、痛みもなくなりました。陽気と共に近辺を散策することを楽しみにしています。今年恒例の通学路の草刈りに参加しようと張り切っています。

## 募集中

### 生涯学習部

月に一度の楽しい集いです。声をだして、知恵をだして、意欲をだして、さあ、学びましょう。...

教委の生涯学習指導員として元小学校校長高見先生が着任されました。お世話になります。

いきいきカレッジ(男女年齢不問)  
※毎月第3金曜午後が定例ですが、変わることもあります。

カレッジ計画表	
5月20日	開級式
6月	自然観察会
7月	グラウンドゴルフ
8月	小学生とGG
9月	津軽三味線鑑賞会
10月	野外学習会
11月	パークゴルフ
12月	脳と指先をつかってゲーム
1月	ふるさとの昔話
2月	ピアノ鑑賞と合唱

セミナー計画表	
5月24日	開級式
	・ミニ畳制作
6月	自然観察会
7月	パークゴルフ
9月	津軽三味線鑑賞会
10月	研修旅行
11月	体と脳のエクササイズ
12月	ふるさとの昔話
2月	体に合った食事
3月	閉級式・反省茶話会

堰本女性セミナー(女性のみな年齢問わず)  
※毎月第4火曜日午後1時30分から(7月は9時)